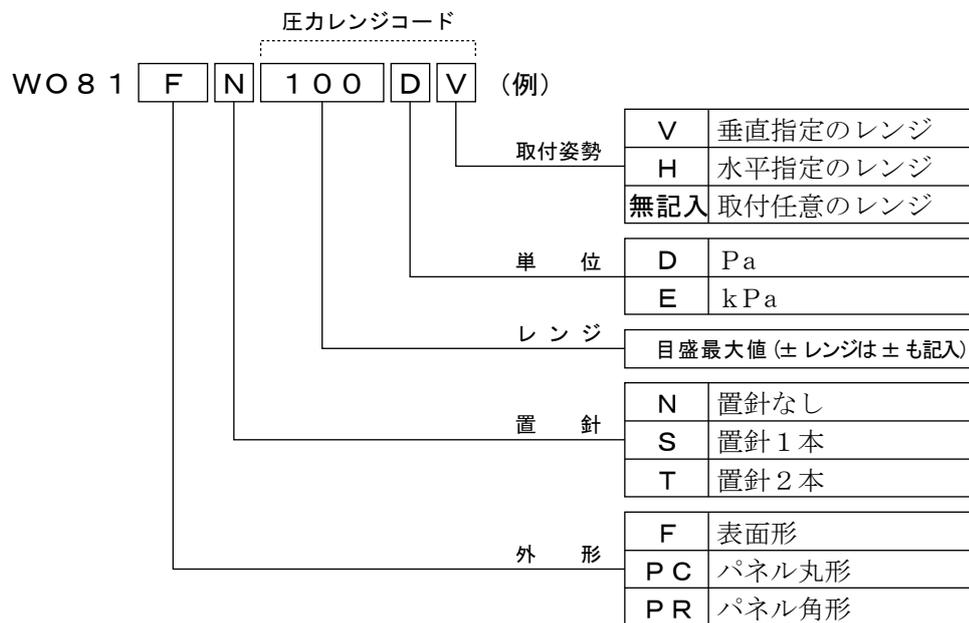


<h1 style="margin: 0;">標準仕様書</h1>
<h2 style="margin: 0;">マノスターゲージ</h2> <h3 style="margin: 0;">WO81形</h3>
<p style="margin: 0;">No. SY-WO81-15</p>

製品コード



**株式会社 山本電機製作所**  
 YAMAMOTO ELECTRIC WORKS CO., LTD. JAPAN

〒653-0031 神戸市長田区西尻池町一丁目2番3号

TEL.(078)631-6000 FAX.(078)631-6020

## マノスターゲージ WO81 形 標準仕様

		参照図面						
形 式	1. WO81FN 形 (表面形 置針なし)	Y3-7510-100-01B						
	2. WO81FS 形 (表面形 置針 1 本付)	Y3-7510-101-01B						
	3. WO81FT 形 (表面形 置針 2 本付)	Y3-7510-102-01B						
	4. WO81PCN 形 (パネル丸形 置針なし)	Y3-7510-103-01B						
	5. WO81PCS 形 (パネル丸形 置針 1 本付)	Y3-7510-104-01B						
	6. WO81PCT 形 (パネル丸形 置針 2 本付)	Y3-7510-105-01B						
	7. WO81PRN 形 (パネル角形 置針なし)	Y3-7510-106-01B						
	8. WO81PRS 形 (パネル角形 置針 1 本付)	Y3-7510-107-01B						
	9. WO81PRT 形 (パネル角形 置針 2 本付)	Y3-7510-108-01B						
目 盛 仕 様	1. 圧力単位 Pa, kPa	Y3-7510-130-01D						
	2. 圧力単位 Pa, kPa (ゼロセンチレンジ)	Y3-7510-130-02B						
	3. 圧力単位 (kPa)	Y3-7510-195-01E						
置 針 色	S 形赤、T 形赤、緑 各 1							
圧力測定方式	差圧式							
受圧エレメント	ダイヤフラム(シリコーンゴム)							
測定ガス体	空気および非腐食性ガス(液体は不可)							
目盛表示角	約 270° 広角指示							
使用周囲温度	-10~+50℃(ただし氷結しないこと)							
使用周囲湿度	90%RH 以下(ただし結露しないこと)							
計器本体耐圧力	200kPa							
耐 久 振 動	5~10Hz 振幅 10mm、10~50Hz 加速度 39m/s <sup>2</sup> (3 軸方向 各 2h)							
耐 久 衝 撃	100m/s <sup>2</sup> (3 軸方向 各 6 回)							
外 装 材 質	ポリカーボネートおよびポリアミド							
適 合 配 管	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ビニル管またはゴム管(内径 6) …………… 樹脂製ビニル管用口金(本体装着済)</li> <li>・ 金属管(外径 6±0.1) …………… 別売の金属管用口金が必要</li> <li>・ 硬質プラスチック管(外径 6×内径 4) …………… 別売の金属管用口金とインナースリーブセット(XIN6×4)が必要</li> </ul>							
口 金 極 性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高圧側 赤色、低圧側 青色で表示</li> <li>・ 高圧側および低圧側の口金を入れ替えることにより、極性勝手の変更可能</li> </ul>							
質 量	約 270g							
付 属 品	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="width: 30%;">1. WO81F 形</td> <td>取付ねじセット</td> </tr> <tr> <td>2. WO81PC 形</td> <td>取付金具セット 2 組 (本体装着済)</td> </tr> <tr> <td>3. WO81PR 形</td> <td>取付ナットセット (本体装着済)</td> </tr> </tbody> </table>		1. WO81F 形	取付ねじセット	2. WO81PC 形	取付金具セット 2 組 (本体装着済)	3. WO81PR 形	取付ナットセット (本体装着済)
1. WO81F 形	取付ねじセット							
2. WO81PC 形	取付金具セット 2 組 (本体装着済)							
3. WO81PR 形	取付ナットセット (本体装着済)							
適 合 規 格	RoHS 指令							

## 圧カレンジおよび特性

圧カレンジ コード	圧カレンジ		取付姿勢	精 度 (20℃において)	受圧エレメント 耐圧力
	Pa	kPa			
50 DH	0 ~ 50	(0 ~ 0.05)	水平	±5%FS	10kPa
50 DV			垂直		
100 DH	0 ~ 100	(0 ~ 0.1)	水平	±2.5%FS	
100 DV			垂直		
200 D	0 ~ 200	(0 ~ 0.2)	水平 ∟ 垂直間 取付任意	±1.5%FS	40kPa
300 D	0 ~ 300	(0 ~ 0.3)			
500 D	0 ~ 500	(0 ~ 0.5)			
1000 D	0 ~ 1000				
1 E		0 ~ 1	水平 ∟ 垂直間 取付任意	±1.5%FS	40kPa
2 E		0 ~ 2			
3 E		0 ~ 3			
5 E		0 ~ 5			
10 E		0 ~ 10	水平 ∟ 垂直間 取付任意	±1.5%FS	150kPa
20 E		0 ~ 20			
30 E		0 ~ 30			
50 E		0 ~ 50			
100 E		0 ~ 100			
+ - 50 DH	-50 ~ +50	(-0.05 ~ +0.05)	水平	±2.5%FS	10kPa
+ - 50 DV			垂直		
+ - 100 D	-100 ~ +100	( -0.1 ~ +0.1 )	水平 ∟ 垂直間 取付任意	±1.5%FS	40kPa
+ - 200 D	-200 ~ +200	( -0.2 ~ +0.2 )			
+ - 300 D	-300 ~ +300	( -0.3 ~ +0.3 )			
+ - 500 D	-500 ~ +500	( -0.5 ~ +0.5 )			
+ - 1000 D	-1000 ~ +1000	( -1 ~ +1 )			
+ - 2 E		-2 ~ +2	水平 ∟ 垂直間 取付任意	±1.5%FS	40kPa
+ - 3 E		-3 ~ +3			

( )は標準外製品

※「下向水平」取付、「取付姿勢 135°」取付等、上記以外の取付姿勢は、ご注文時にご指定が必要です。

## 定期校正

一般に計器の寿命・信頼性を長期間保持するためには、外部要因によるストレスをかけないことが重要です。本器は取扱説明書に従って適正に使用していただければ特に保守の必要はありませんが、1年に1回の定期校正をおすすめします。定期校正については代理店または弊社までお問い合わせください。

## 製品保証について

### 保証期間

製品の保証期間は、弊社と直接取引のあるご注文主の指定場所に納入後1年といたします。

### 保証範囲

上記保証期間中に弊社の責任により故障が生じた場合は、その製品の修理、または代替品の供給を無償にて行います。

ただし、次に該当する場合は、この保証範囲から除外させていただきます。

- (1) 取扱説明書、仕様書、弊社製品カタログなどに記載された以外の不当な条件、環境、取り扱い、使用方法による場合
- (2) 故障の原因が弊社製品以外の事由による場合
- (3) 弊社以外での改造、修理による場合
- (4) 弊社出荷時の科学、技術水準では予見が不可能だった事由による場合
- (5) その他、天災、災害など、弊社の責任ではない外部要因による場合

なお、ここでいう保証は、弊社製品単体の保証を意味するもので、製品の故障により誘発される損害は保証の対象外とさせていただきます。

※弊社製品保証は日本国内でのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

## サービスについて

### サービスの範囲

製品の価格には、技術者派遣等のサービス費用は含んでおりませんので、次の場合は別個に費用を申し受けます。

- (1) 取付調整指導および試運転立会
- (2) 保守点検、調整および修理
- (3) 技術指導および技術教育
- (4) 製品の弊社工場における立会検査

### 「受圧エレメント耐圧力」とは、

ダイヤフラムが破損、変形に対し耐え得る最大圧力(片耐圧力)……高圧(H)側、または低圧(L)側どちらか片方に加わる圧力

### 「計器本体耐圧力」とは、

計器本体が破壊せず、安全に耐え得る最大圧力(両耐圧力)……高圧(H)側、および低圧(L)側の両方に加わる圧力

注: 計器本体耐圧力は計器の気密を保証する圧力ではありません。



計器の高圧(H)側、低圧(L)側に受圧エレメント耐圧力を超える圧力を同時に加えた場合、計器の高圧(H)側室、低圧(L)側室の容積や配管容積の差により到達圧力にアンバランスが生じて、ダイヤフラム耐圧力以上の圧力が加わり、ダイヤフラムやリテーナが破損、変形することがあります。

高圧(H)側、低圧(L)側から同時にダイヤフラム耐圧力以上の圧力を加える場合は、時間をかけ徐々に圧力をあげてください。圧力開放時も同様に徐々に圧力を下げてください。